

現行表彰制度に対する林野庁指摘及び見直しの考え方について

令和3年3月26日

1. 林野庁指摘について

(1) 現行制度

- ・現行制度は、平成29年度に創設され4年経過。
- ・前年度、国有林・民有林から受注した調査測量設計に係る応募業務について、選考委員会における審査・選考後、下付申請し、優秀な受注者（法人）・管理技術者に林野庁長官表彰状を授与。

【参考】現行の応募様式記載項目

- ①業務名、発注機関名、請負金額、工期、受託者事業所名、管理技術者【「賞状」関係要素】
- ②主な業務の内容、業務概要、業務成績・技術者（管理技術者）評定【「賞状」関係要素】
- ③功績調書【「表彰状」関係要素】
 - i 森林コンサルタント業務の発展に顕著な功績又は貢献、
 - ii 森林コンサルタント業務に関し、特に有益な発明・改良等技術の開発の向上に貢献
 - iii 防災ボランティア、森林整備・緑化活動等森林・林業社会貢献活動に貢献

(2) 林野庁指摘

ア 現行制度に対して、昨年末林野庁から、「現在の表彰制度は、単年度の調査測量設計の納品書（成果品）に関する相対的な評価であり、「治山・林道工事コンクール」のように、コンクール、共進会等のような性格のものであることから、このような場合には、『表彰状』ではなく、工事コンクールに対して授与している『賞状』の方が適切と考えるので、次年度から見直しを検討していただきたい」旨の指摘があったところ。

〔表彰には、「表彰状」、「感謝状」及び「賞状」の3種類ありとの由〕

イ 他団体等の受賞者数と比較しても、現行の受賞件数20件は応募件数約40に対して極めて突出しており、特に今年度から、農林水産大臣官房秘書課から、表彰状等が多いとの指摘があり、大臣賞のみならず各局庁長の表彰についても、大臣表彰規程を基本として、各局庁の表彰規程等を厳格に運用するように指導されているところ。

ウ この背景としては、河野行革大臣が「押印廃止」を推進中であり、最終的に押印（長官印使用）が残るのは表彰関係のみとなり、現行制度のままでは後々問題となることが想定されるので見直しをしてはとの示唆があったところ。

2. 見直しの考え方について

(1) 課題、問題点等

ア 表彰実績に関する評価関係

各森林管理局の総合評価落札方式における林野庁長官の「表彰実績」の加点対象については、林野庁長官「表彰状」から同長官「賞状」に変更しても、加点対象となることを過日確認。

イ 応募件数関係

この4年間に当協議会の表彰制度における応募件数は毎年約40件程度と工事コンクール等に比しても大幅に少ないことから、今後、大臣賞の創設も見据えた場合、いかに応募数を増やしていくかが課題。

ウ 推薦方式関係

他団体においては、都道府県協会等からの審査・推薦を経て中央協会での審査を行う方式を採用していることから、当協議会においても大臣賞を想定し、「地区調査会」（現在、東北、関東、九州で設立済み）又は「地区調査員」の活用により、この地区調査会等を経由して応募する方式にしたいと考えているが、まだ、地区調査会が未設置の地区もあり、その設置が課題。

(2) 見直しの考え方

見直しの基本的な考え方は次のとおり。なお、今後林野庁への説明過程で変更があり得る。

ア 表彰対象の区分

現行制度の中で、業務コンクールとしての「賞状」制度を創設するとともに、功績等を表彰する制度として、「表彰状」及び「感謝状」の位置づけを明確にし、両者を区分。

イ 表彰規程・実施要領等

「表彰規程」については、下表のとおり、「表彰状」、「感謝状」及び「賞状」は一つの規程とし、その規程の運用である「実施要領」については、「表彰状」・「感謝状」と「賞状」を区分けして2つの実施要領とする。

ウ 表彰の部門・分野

現行規程では、調査測量設計業務の「部門・分野」については特に区分はしていないが、見直し後は、受賞点数の関係もあり、次の2部門4分野とする。

- (i) 通常部門 (①治山分野、②林道分野、③森林調査測量分野)
- (ii) 新技術部門 (①新技術分野)

エ 選考の考え方等

選考の考え方は、発注者の評定点を基本としつつ、施工時の配慮、災害復旧関係貢献度等も加味する。また、1法人（事業所等）から複数の応募ができることとする。

団体名	区分	表彰状の種類	表彰規程	実施要領	選考の考え方等
コンサル協議会	現行	表彰状 (功績・コンクールの2要素)	○	○	○
	見直し後	表彰状・感謝状 (功績)	○	○	○
		賞状 (業務コンクール)		○	○
治山治水協会	現行	表彰状(功績)	○	—	—
		賞状 (工事コンクール・5部門※)	○ (5部門毎)	○ (5部門毎)	—
林土連	現行	感謝状(功績)	○	○	○
		工事コンクール (林野庁主催)	長官通知 「実施要領」	業務課長通知 「要領の運用」	—
全森建	現行	表彰状(功績)	○	○	○

※5 部門：①民有林治山工事、②民有林治山木材使用工事、③林道維持管理、④民有林林道工事、⑤民有林林道木材使用工事 以上